様式2-1

定期検査報告概要書

（建築設備等（昇降機及び遊戯施設を除く。））

（第一面）

【1．建築物の所管部局】
【イ．部局名のフリガナ】
【ロ．部局名】

【2．施設の運営・管理者】
【イ．部局名のフリガナ】
【ロ．部局名】
【ハ．住所】

【3．報告対象建築物】
【イ．所在地】
【ロ．名称のフリガナ】
【ハ．名称】
【ニ．用途】

【4．検査による指摘の概要】
【イ．指摘の内容】　□要是正の指摘あり（□既存不適格）　□指摘なし
【ロ．指摘の概要】
【ハ．改善予定の有無】□有（　　年　　月に改善予定）　□無
【ニ．その他特記事項】

【5．不具合の発生状況】
【イ．不具合】　□有　□無
【ロ．不具合記録】□有　□無
【ハ．不具合の概要】
【ニ．改善の状況】□実施済　□改善予定（　　年　　月に改善予定）
□予定なし（理由：　　）

（第二面）

建築設備の状況等

【1．建築物の概要】
【イ．階数】　　地上　　階　地下　　階
【ロ．建築面積】　　㎡
【ハ．延べ面積】　　㎡
【ニ．検査対象建築設備】□換気設備　□排煙設備　□非常用の照明装置
□給水設備及び排水設備

【2．確認済証交付年月日等】
【イ．確認済証交付年月日】　　年　月　日　第　号
【ロ．確認済証交付者】　□建築主事　□指定確認検査機関（　　）
【ハ．検査済証交付年月日】　　年　月　日　第　号
【ニ．検査済証交付者】　□建築主事　□指定確認検査機関（　　）

【3．検査日等】
【イ．今回の検査】　　年　月　日実施
【ロ．前回の検査】□実施（　　年　月　日報告）□未実施
【ハ．前回の検査に関する書類の写し】□有　□無

【4．換気設備の検査者】
（代表となる検査者）
【イ．資格等】（　　）建築士　（　　）登録第　　号
建築設備検査員　第　　号
【ロ．氏名のフリガナ】
【ハ．氏名】
【ニ．勤務先】
（　　）建築士事務所　（　　）知事登録第　　号
【ホ．郵便番号】
【ヘ．所在地】
【ト．電話番号】
（その他の検査者）
【イ．資格等】（　　）建築士　（　　）登録第　　号
建築設備検査員　第　　号
【ロ．氏名のフリガナ】
【ハ．氏名】
【ニ．勤務先】
（　　）建築士事務所　（　　）知事登録第　　号
【ホ．郵便番号】
【ヘ．所在地】
【ト．電話番号】

【5．換気設備の概要】
【イ．無窓居室】　□自然換気設備（　系統　室）　□機械換気設備（　系統　室）
□中央管理方式の空気調和設備（　系統　室）
□その他（　系統　室）　□無
【ロ．火気使用室】□自然換気設備（　系統　室）　□機械換気設備（　系統　室）
□その他（　系統　室）　□無
【ハ．居室等】　□自然換気設備（　系統　室）　□機械換気設備（　系統　室）
□中央管理方式の空気調和設備（　系統　室）
□その他（　系統　室）　□無
【ニ．防火ダンパーの有無】　□有　□無

【6. 排煙設備の検査者】
（代表となる検査者）
【イ. 資格等】（　　）建築士　（　　）登録第　　号
建築設備検査員　第　　号
【ロ. 氏名のフリガナ】
【ハ. 氏名】
【ニ. 勤務先】
（　　）建築士事務所　（　　）知事登録第　　号
【ホ. 郵便番号】
【ヘ. 所在地】
【ト. 電話番号】
（その他の検査者）
【イ. 資格等】（　　）建築士　（　　）登録第　　号
建築設備検査員　第　　号
【ロ. 氏名のフリガナ】
【ハ. 氏名】
【ニ. 勤務先】
（　　）建築士事務所　（　　）知事登録第　　号
【ホ. 郵便番号】
【ヘ. 所在地】
【ト. 電話番号】

【7. 排煙設備の概要】
【イ. 避難安全検証法】□区画避難安全検証法（　　階）　□階避難安全検証法（　　階）
□全館避難安全検証法　□その他（　　）
【ロ. 特別避難階段の付室】　□吸引式（　　区画）　□給気式（　　区画）
□加圧式（　　区画）　□無
【ハ. 非常用エレベーターの乗降ロビー】□吸引式（　　区画）　□給気式（　　区画）
□加圧式（　　区画）　□無
【ニ. 居室等】　□吸引式（　　区画）　□給気式（　　区画）　□無
【ホ. 予備電源】□蓄電池　□自家用発電装置　□直結エンジン　□その他

【8. 非常用の照明装置の検査者】
（代表となる検査者）
【イ. 資格等】（　　）建築士　（　　）登録第　　号
建築設備検査員　第　　号
【ロ. 氏名のフリガナ】
【ハ. 氏名】
【ニ. 勤務先】
（　　）建築士事務所　（　　）知事登録第　　号
【ホ. 郵便番号】
【ヘ. 所在地】
【ト. 電話番号】
（その他の検査者）
【イ. 資格等】（　　）建築士　（　　）登録第　　号
建築設備検査員　第　　号
【ロ. 氏名のフリガナ】
【ハ. 氏名】
【ニ. 勤務先】
（　　）建築士事務所　（　　）知事登録第　　号
【ホ. 郵便番号】
【ヘ. 所在地】
【ト. 電話番号】

【9. 非常用の照明装置の概要】
【イ. 照明器具】□白熱灯（　　灯）　□蛍光灯（　　灯）
□LEDランプ（　　灯）　□その他（　　灯）
【ロ. 予備電源】□蓄電池（内蔵形）（居室　　灯、廊下　　灯、階段　　灯）

□蓄電池（別置形）（居室　　灯、廊下　　灯、階段　　灯）
□自家用発電装置（居室　　灯、廊下　　灯、階段　　灯）
□蓄電池(別置形)・自家発電装置併用（居室　　灯、廊下　　灯、階段　　灯）
□その他

【10. 給水設備及び排水設備の検査者】
（代表となる検査者）
【イ. 資格等】（　　）建築士　（　　）登録第　　号
建築設備検査員　第　　号
【ロ. 氏名のフリガナ】
【ハ. 氏名】
【ニ. 勤務先】
（　　）建築士事務所　（　　）知事登録第　　号
【ホ. 郵便番号】
【ヘ. 所在地】
【ト. 電話番号】
（その他の検査者）
【イ. 資格等】（　　）建築士　（　　）登録第　　号
建築設備検査員　第　　号
【ロ. 氏名のフリガナ】
【ハ. 氏名】
【ニ. 勤務先】
（　　）建築士事務所　（　　）知事登録第　　号
【ホ. 郵便番号】
【ヘ. 所在地】
【ト. 電話番号】

【11. 給水設備及び排水設備の概要】
【イ.飲料水の配管設備】□給水タンク（　基　　m3）　□貯水タンク（　基　　m3）
□その他（　　）
【ロ.排水設備】□排水槽（□汚水槽　□雑排水槽　□合併槽　□雨水槽・湧水槽）
□排水再利用配管設備　□その他（　　）
【ハ.圧力タンクの有無】□有　□無
【ニ.給湯方式】□局所式　□中央式
【ホ.湯沸器】□開放式燃焼器　□半密閉式燃焼器　□密閉式燃焼器
□その他（　　）

【12. 備考】

（注意）
この様式には、第三十六号の六様式に記入した内容と同一の内容を記入してください。第二面は、同様式第二面において指摘があつた建築設備についてのみ作成し、第一面に添えてください。

第三十六号の六様式（第六条、第六条の二の二関係）（Ａ４）

定期検査報告書
（建築設備等（昇降機及び遊戯施設を除く。））

（第一面）

建築基準法第12条第３項の規定により、定期検査の結果を報告します。この報告書に記載の事項は事実に相違ありません。

札幌市長　　様

年　　月　　日

報告者氏名　　印

検査者氏名　　印

【1．建築物の所管部局】
【イ．部局名のフリガナ】
【ロ．部局名】
【ハ．電話番号】

【2．施設の運営・管理者】　　（指定管理者等）
【イ．部局名のフリガナ】
【ロ．部局名】
【ハ．住所】
【ニ．電話番号】

【3．報告対象建築物】
【イ．所在地】
【ロ．名称のフリガナ】
【ハ．名称】
【ニ．用途】

【4．検査による指摘の概要】
【イ．指摘の内容】　□要是正の指摘あり（□既存不適格）　□指摘なし
【ロ．指摘の概要】
【ハ．改善予定の有無】□有（　　年　　月に改善予定）　□無
【ニ．その他特記事項】

（第二面）

建築設備の状況等

【1．建築物の概要】
【イ．階数】　　地上　　階　地下　　階
【ロ．建築面積】　　㎡
【ハ．延べ面積】　　㎡
【ニ．検査対象建築設備】□換気設備　□排煙設備　□非常用の照明装置

【2.確認済証交付年月日等】
【イ．確認済証交付年月日】　　年　月　日　第　号
【ロ．確認済証交付者】　□建築主事　□指定確認検査機関（　　）
【ハ．検査済証交付年月日】　　年　月　日　第　号
【ニ．検査済証交付者】　□建築主事　□指定確認検査機関（　　）

【3．検査日等】
【イ．今回の検査】　　年　月　日実施
【ロ．前回の検査】□実施（　　年　月　日報告）　□未実施
【ハ．前回の検査に関する書類の写し】□有　□無

【4．換気設備の検査者】
（代表となる検査者）
【イ．資格等】（　　）建築士　（　　）登録第　号
建築設備検査員　第　号
【ロ．氏名のフリガナ】
【ハ．氏名】
【ニ．勤務先】
（　　）建築士事務所　（　　）知事登録第　号
【ホ．郵便番号】
【ヘ．所在地】
【ト．電話番号】
（その他の検査者）
【イ．資格等】（　　）建築士　（　　）登録第　号
建築設備検査員　第　号
【ロ．氏名のフリガナ】
【ハ．氏名】
【ニ．勤務先】
（　　）建築士事務所　（　　）知事登録第　号
【ホ．郵便番号】
【ヘ．所在地】
【ト．電話番号】

【5．換気設備の概要】
【イ．無窓居室】　□自然換気設備（　系統　室）　□機械換気設備（　系統　室）
□中央管理方式の空気調和設備（　系統　室）
□その他（　系統　室）　□無
【ロ．火気使用室】□自然換気設備（　系統　室）　□機械換気設備（　系統　室）
□その他（　系統　室）　□無
【ハ．居室等】　□自然換気設備（　系統　室）　□機械換気設備（　系統　室）
□中央管理方式の空気調和設備（　系統　室）
□その他（　系統　室）　□無
【ニ．防火ダンパーの有無】　□有　□無

【6．換気設備の検査の状況】
【イ．指摘の内容】　□要是正の指摘あり（□既存不適格）　□指摘なし
【ロ．指摘の概要】
【ハ．改善予定の有無】□有（　年　月に改善予定）　□無

【7．換気設備の不具合の発生状況】
【イ．不具合】　□有　□無
【ロ．不具合記録】□有　□無
【ハ．改善の状況】□実施済　□改善予定（　年　月に改善予定）　□予定なし

【8. 排煙設備の検査者】
（代表となる検査者）
【イ. 資格等】（　　）建築士　（　　）登録第　　号
建築設備検査員　第　　号
【ロ. 氏名のフリガナ】
【ハ. 氏名】
【ニ. 勤務先】
（　　）建築士事務所　（　　）知事登録第　　号
【ホ. 郵便番号】
【ヘ. 所在地】
【ト. 電話番号】
（その他の検査者）
【イ. 資格等】（　　）建築士　（　　）登録第　　号
建築設備検査員　第　　号
【ロ. 氏名のフリガナ】
【ハ. 氏名】
【ニ. 勤務先】
（　　）建築士事務所　（　　）知事登録第　　号
【ホ. 郵便番号】
【ヘ. 所在地】
【ト. 電話番号】

【9. 排煙設備の概要】
【イ. 避難安全検証法】□区画避難安全検証法（　　階）　□階避難安全検証法（　　階）
□全館避難安全検証法　□その他（　　）
【ロ. 特別避難階段の階段室又は付室】　□吸引式（　　区画）　□給気式（　　区画）
□加圧式（　　区画）　□無
【ハ. 非常用エレベーターの昇降路又は乗降ロビー】□吸引式（　　区画）　□給気式（　　区画）
□加圧式（　　区画）　□無
【ニ. 非常用エレベーターの乗降ロビーの用に供する付室】
□吸引式（　　区画）　□給気式（　　区画）
□加圧式（　　区画）　□無
【ホ. 居室等】　□吸引式（　　区画）　□給気式（　　区画）　□無
【ヘ. 予備電源】　□蓄電池　□自家用発電装置　□直結エンジン　□その他

【10. 排煙設備の検査の状況】
【イ. 指摘の内容】　□要是正の指摘あり（□既存不適格）　□指摘なし
【ロ. 指摘の概要】
【ハ. 改善予定の有無】□有（　　年　　月に改善予定）　□無

【11. 排煙設備の不具合の発生状況】
【イ. 不具合】　□有　□無
【ロ. 不具合記録】□有　□無
【ハ. 改善の状況】□実施済　□改善予定（　　年　　月に改善予定）　□予定なし

【12. 非常用の照明装置の検査者】
（代表となる検査者）
【イ. 資格等】（　　）建築士　（　　）登録第　　号
建築設備検査員　第　　号
【ロ. 氏名のフリガナ】
【ハ. 氏名】
【ニ. 勤務先】
（　　）建築士事務所　（　　）知事登録第　　号
【ホ. 郵便番号】
【ヘ. 所在地】
【ト. 電話番号】
（その他の検査者）
【イ. 資格等】（　　）建築士　（　　）登録第　　号
建築設備検査員　第　　号
【ロ. 氏名のフリガナ】
【ハ. 氏名】
【ニ. 勤務先】
（　　）建築士事務所　（　　）知事登録第　　号
【ホ. 郵便番号】
【ヘ. 所在地】
【ト. 電話番号】

【13. 非常用の照明装置の概要】
【イ. 照明器具】□白熱灯（　　灯）　□蛍光灯（　　灯）
□LEDランプ（　　灯）　□その他（　　灯）
【ロ. 予備電源】□蓄電池（内蔵形）（居室　　灯、廊下　　灯、階段　　灯）
□蓄電池（別置形）（居室　　灯、廊下　　灯、階段　　灯）
□自家用発電装置（居室　　灯、廊下　　灯、階段　　灯）
□蓄電池(別置形)・自家発電装置併用（居室　　灯、廊下　　灯、階段　　灯）
□その他

【14. 非常用の照明装置の検査の状況】
【イ. 指摘の内容】　□要是正の指摘あり（□既存不適格）　□指摘なし
【ロ. 指摘の概要】
【ハ. 改善予定の有無】□有（　　年　　月に改善予定）　□無

【15. 非常用の照明装置の不具合の発生状況】
【イ. 不具合】　□有　□無
【ロ. 不具合記録】□有　□無
【ハ. 改善の状況】□実施済　□改善予定（　　年　　月に改善予定）　□予定なし

【16. 給水設備及び排水設備の検査者】
（代表となる検査者）
【イ. 資格等】（　　）建築士　（　　）登録第　　号
建築設備検査員　第　　号
【ロ. 氏名のフリガナ】
【ハ. 氏名】
【ニ. 勤務先】
（　　）建築士事務所　（　　）知事登録第　　号
【ホ. 郵便番号】
【ヘ. 所在地】
【ト. 電話番号】
（その他の検査者）
【イ. 資格等】（　　）建築士　（　　）登録第　　号
建築設備検査員　第　　号
【ロ. 氏名のフリガナ】
【ハ. 氏名】
【ニ. 勤務先】
（　　）建築士事務所　（　　）知事登録第　　号
【ホ. 郵便番号】
【ヘ. 所在地】
【ト. 電話番号】

【17. 給水設備及び排水設備の概要】
【イ.飲料水の配管設備】□給水タンク（　基　　m3）　□貯水タンク（　基　　m3）
□その他（　　）
【ロ.排水設備】　□排水槽（□汚水槽　□雑排水槽　□合併槽　□雨水槽・湧水槽）
□排水再利用配管設備　□その他（　　）
【ハ.圧力タンクの有無】□有　□無
【ニ.給湯方式】　□局所式　□中央式
【ホ.湯沸器】　□開放式燃焼器　□半密閉式燃焼器　□密閉式燃焼器
□その他（　　）

【18. 給水設備及び排水設備の検査の状況】
【イ.指摘の内容】□要是正の指摘あり（□既存不適格）　□指摘なし
【ロ.指摘の概要】
【ハ.改善予定の有無】□有（　　年　　月に改善予定）　□無

【19. 給水設備及び排水設備の不具合の発生状況】
【イ.不具合】　□有　□無
【ロ.不具合の記録】　□有　□無
【ハ.改善の状況】□実施済　□改善予定（　　年　　月に改善予定）　□予定なし

【20. 備考】

（第三面）

建築設備に係る不具合の状況

【1.換気設備】

不具合を把握した年月	不具合の概要	考えられる原因	改善(予定)年月	改善措置の概要等

【2.排煙設備】

不具合を把握した年月	不具合の概要	考えられる原因	改善(予定)年月	改善措置の概要等

【3.非常用の照明装置】

不具合を把握した年月	不具合の概要	考えられる原因	改善(予定)年月	改善措置の概要等

【4.給水設備及び排水設備】

不具合を把握した年月	不具合の概要	考えられる原因	改善(予定)年月	改善措置の概要等

（注意）
1. 各面共通関係
① ※印のある欄は記入しないでください。
② 数字は算用数字を、単位はメートル法を用いてください。
③ 記入欄が不足する場合は、枠を拡大、行を追加して記入するか、別紙に必要な事項を記入し添えてください。
2. 第一面関係
① 報告者又は検査者の氏名の記載を自署で行う場合においては、押印を省略することができます。
② 検査者が２人以上のときは、代表となる検査者を検査者氏名欄に記入してください。
③ １欄及び２欄は、所有者又は管理者が法人のときは、「ロ」はそれぞれ法人の名称及び代表者氏名を、「ニ」はそれぞれ法人の所在地を記入してください。
④ 第二面の６欄、10欄、14欄又は18欄のいずれかの「イ」において「要是正の指摘あり」のチェックボックスに「レ」マークを入れた場合においては、４欄の「イ」の「要是正の指摘あり」のチェックボックスに「レ」マークを入れ、それ以外のときは、「指摘なし」のチェックボックスに「レ」マークを入れてください。また、第二面の６欄、10欄、14欄及び18欄の「イ」の「要是正の指摘あり」のチェックボックスに「レ」マークを入れたものの全てにおいて、「既存不適格」のチェックボックスに「レ」マークを入れたときは、併せて４欄の「イ」の「既存不適格」のチェックボックスに「レ」マークを入れてください。
⑤ ４欄の「ロ」は、指摘された事項のうち特に報告すべき事項があれば記入してください。
⑥ ４欄の「ハ」は、第二面の６欄、10欄又は14欄のいずれかの「ロ」において改善予定があるとしているときは「有」のチェックボックスに「レ」マークを入れ、第二面の６欄、10欄又は14欄の「ロ」に記入されている改善予定年月のうち最も早いものを併せて記入してください。
⑦ ４欄の「ニ」は、指摘された事項以外に特に報告すべき事項があれば記入してください。
3. 第二面関係
① この書類は、建築物ごとに、建築設備等の概要及び当該建築設備等の構造方法に係る検査結果について作成してください。
② １欄の「ニ」は、検査対象の建築設備について、該当する全てのチェックボックスに「レ」マークを入れてください。
③ ２欄の「イ」及び「ロ」は、検査対象の建築設備等に関する直前の確認（建築基準法第87条の4及び同法第88条第２項の規定により準用して適用される同法第６条第１項に規定する確認を含む。以下この様式において同じ。）について、「ハ」及び「ニ」は、検査対象の建築設備等に関する直前の完了検査について、それぞれ記入してください。
④ ２欄の「ロ」及び「ニ」は、該当するチェックボックスに「レ」マークを入れ、「指定確認検査機関」の場合には、併せてその名称を記入してください。
⑤ ３欄の「イ」は、検査が終了した年月日を記入し、「ロ」は、検査対象の建築設備等に関する直前の報告について記入して下さい。
⑥ ３欄の「ロ」は、報告の対象となっていない場合には「未実施」のチェックボックスに「レ」マークを入れてください。
⑦ ３欄の「ハ」は、前回の定期検査の結果を記録した書類の写しの保存の有無について記入してください。
⑧ ４欄から１５欄までは、検査の対象となっていない建築設備等の欄には記入する必要はありません。
⑨ ４欄、８欄及び12欄は、代表となる検査者並びに検査に係る建築設備に係るすべての検査者について記入してください。当該建築設備の検査を行った検査者が１人の場合は、その他の検査者欄は削除して構いません。
⑩ ４欄、８欄及び12欄の「イ」は、検査者の有する資格等について記入してください。検査者が建築設備検査員である場合は、建築設備検査員資格者証の交付番号を「建築設備検査員」の番号欄に記入してください。
⑪ ４欄、８欄及び12欄の「ニ」は、検査者が法人に勤務している場合は、検査者の勤務先について記入し、勤務先が建築士事務所のときは、事務所登録番号を併せて記入してください。
⑫ ４欄、８欄及び12欄の「ホ」から「ト」までは、検査者が法人に勤務している場合は、検査者の勤務先について記入し、検査者が法人に勤務していない場合は検査者の住所について記入してください。
⑬ ５欄の「イ」は、換気のための有効な部分の面積が居室の床面積の20分の１未満となる居室（建築基準法第28条第３項に規定する特殊建築物の居室を除く。）について、「ロ」は、同項に規定する室（同項に規定する特殊建築物の居室を除く。）について記入し、それぞれ該当する室がない場合においては「無」のチェックボックスに「レ」マークを入れ、「ハ」は、同項に規定する特殊建築物の居室について記入してください。
⑭ 17欄の「イ」、「ロ」及び「ホ」は、それぞれ該当するチェックボックスに「レ」マークを入れ、「その他」の場合は併せて具体的な内容を記入してください。
⑮ ６欄、10欄、14欄及び18欄の「イ」は、検査結果において、是正が必要と認められるときは「要是正の指摘あり」のチェックボックスに「レ」マークを入れ、当該指摘された箇所の全てに建築基準法第３条第２項の規定の適用を受けているものであることが確認されたときは併せて「既存不適格」のチェックボックスに「レ」マークを入れてください。
⑯ ６欄、10欄、14欄及び18欄の「イ」の「要是正の指摘あり」のチェックボックスに「レ」マークを入れたとき（「既存不適格」のチェックボックスに「レ」を入れたときを除く。）は、「ロ」

に指摘の概要を記入してください。

⑰　６欄、10欄、14欄及び18欄の「イ」の「要是正の指摘あり」のチェックボックスに「レ」マークを入れ（「既存不適格」のチェックボックスに「レ」を入れたときを除く。）、当該指摘をうけた項目について改善予定があるときは「ハ」の「有」のチェックボックスに「レ」マークを入れ、併せて改善予定年月を記入してください。改善予定がないときは「ハ」の「無」のチェックボックスに「レ」マークを入れてください。

⑱　前回検査時以降に把握した火災時の排煙設備不作動等機器の故障、異常動作、損傷、腐食その他の劣化に起因するもの（以下、「不具合」という。）について第三面の１欄、２欄、３欄又は４欄の「不具合の概要」欄に記入したときは、７欄、11欄、15欄又は19欄の「イ」の「有」のチェックボックスに「レ」マークを入れ、当該不具合について記録が有るときは７欄、11欄、15欄又は19欄の「ロ」の「有」のチェックボックスに「レ」マークを入れ、記録が無いときは７欄、11欄、15欄又は19欄の「ロ」の「無」のチェックボックスに「レ」マークを入れてください。また、第三面の１欄、２欄、３欄又は４欄に記入された不具合のうち当該不具合を受けた改善を既に実施しているものがあり、かつ、改善を行う予定があるものがない場合には７欄、11欄、15欄又は19欄の「ハ」の「実施済」のチェックボックスに「レ」マークを入れ、第三面の１欄、２欄、３欄又は４欄に記入された不具合のうち改善を行う予定があるものがある場合には７欄、11欄、15欄又は19欄の「改善予定」のチェックボックスに「レ」マークを入れ、併せて改善予定年月を記入し、改善の予定がない場合には７欄、11欄、15欄又は19欄の「予定なし」のチェックボックスに「レ」マークを入れてください。

⑲　９欄の「イ」は、建築基準法施行令第128条第３項に規定する区画避難安全検証法により区画避難安全性能が検証された建築物のときは「区画避難安全検証法」のチェックボックスに、同令第129条第３項に規定する階避難安全検証法により階避難安全性能が検証された建築物のときは「階避難安全検証法」のチェックボックスに、同令129条の２第４項に規定する全館避難安全検証法により全館避難安全性能が確かめられた建築物のときは「全館避難安全検証法」のチェックボックスに、それぞれ「レ」マークを入れ、「区画避難安全検証法」の場合は区画避難安全性能を検証した階を、「階避難安全検証法」の場合は階避難安全性能を検証した階を、併せて記入してください。建築基準法第38条（同法第66条、第67条の２及び第88条第１項において準用する場合を含む。）の規定による特殊構造方法等認定、同法第68条の25第１項の規定による構造方法等の認定又は建築基準法の一部を改正する法律(平成10年法律第100号）による改正前の建築基準法第38条の規定による認定を受けている建築物のうち、当該適用について特に報告が必要なものについては「その他」のチェックボックスに「レ」マークを入れ、その概要を記入してください。

⑳　９欄の「ロ」及び「ハ」は、それぞれ該当する室がないときに「無」のチェックボックスに「レ」マークを入れ、「ニ」は、「ロ」及び「ハ」以外の居室、廊下及び階段の用に供する部分について記入してください。

㉑各欄に掲げられている項目以外で特に報告すべき事項は､16欄又は別紙に記載して添えてください。

4. 第三面関係

①　第三面の１欄、２欄、３欄又は４欄は、前回検査時以降に把握した建築設備に係る不具合のうち第二面の６欄、10欄、14欄又は18欄において指摘されるもの以外のものについて、把握できる範囲において記入してください。前回検査時以降不具合を把握していない場合は、第三面を省略することができます。

②　「不具合を把握した年月」欄は、当該不具合を把握した年月を記入してください。

③　「不具合の概要」欄は、当該不具合の箇所を特定した上で、当該不具合の具体的内容を記入してください。

④　「考えられる原因」欄は、当該不具合が生じた原因として主として考えられるものを記入してください。ただし、当該不具合が生じた原因が不明な場合は「不明」と記入してください。

⑤　「改善(予定)年月」欄は、既に改善を実施している場合には実施年月を、改善を行う予定がある場合には改善予定年月を記入し、改善を行う予定がない場合には「－」を記入してください。

⑥　「改善措置の概要等」欄は、既に改善を実施している場合又は改善を行う予定がある場合に、具体的措置の概要を記入してください。改善を行う予定がない場合には、その理由を記入してください。

検　査　結　果　図

注）配置図及び各階平面図を添付し、指摘のあった箇所（特記すべき事項を含む）や撮影した写真の位置等を明記すること。

別添２様式（Ａ４）　　様式2-4

関係写真

部位	番号	検査項目等	検査結果
			□要是正　□その他
写真貼付			特記事項

部位	番号	検査項目等	検査結果
			□要是正　□その他
写真貼付			特記事項

（注意）

① この書類は、検査の結果「要是正」かつ「既存不適格」でない項目等について作成してください。また、「既存不適格」及び「指摘なし」の項目等についても、特記すべき事項があれば、必要に応じて作成してください。「要是正」の項目等がない場合は、この書類は省略しても構いません。

② 記入欄が不足する場合は、枠を拡大、行を追加して記入するか、別紙に必要な事項を記入して添えてください。

③ 「部位」欄の「番号」、「検査項目等」は、それぞれ別記一号様式から第四号様式の番号、検査項目等に対応したものを記入してください。

④ 「検査結果」欄は、検査の結果、要是正の指摘があった場合は「要是正」のチェックボックスに「レ」マークを入れ、それ以外の場合で特記すべき事項がある場合は「その他」のチェックボックスに「レ」マークを入れてください。

⑤ 写真は、当該部位の外観の状況が確認できるように撮影したものを添付してください。

別記第一号（Ａ４）

検査結果表

（換気設備）

		氏名	検査者番号
当該検査に関与した検査者	代表となる検査者		
	その他の検査者		

番号	検査項目等			検査結果			担当検査者番号
				指摘なし	要是正	既存不適	
1	法第28条第2項又は第3項に基づき換気設備が設けられた居室（換気設備を設けるべき調理室等を除く。）						
(1)	機械換気設備	機械換気設備(中央管理方式の空気調和設備を含む。)の外観	給気機の外気取入口並びに直接外気に開放された給気口及び排気口への雨水の侵入等の防止措置の状況				
(2)			給気機の外気取入口及び排気機の排気口の取付けの状況				
(3)			各居室の給気口及び排気口の設置位置				
(4)			各居室の給気口及び排気口の取付けの状況				
(5)			風道の取付けの状況				
(6)			風道の材質				
(7)			給気機又は排気機の設置の状況				
(8)			換気扇による換気の状況				
(9)			各居室の給気口及び排気口における物品の放置の状況				
(10)		機械換気設備(中央管理方式の空気調和設備を含む。)の性能	各居室の換気量				
(11)			中央管理室における制御及び作動状態の監視の状況				
(12)	中央管理方式の空気調和設備	空気調和設備の主要機器及び配管の外観	空気調和設備の設置の状況				
(13)			空気調和設備及び配管の劣化及び損傷の状況				
(14)			空気調和設備の運転の状況				
(15)			空気ろ過器の点検口				
(16)			冷却塔と建築物の他の部分との離隔距離				
(17)		空気調和設備の性能	各居室の温度				
(18)			各居室の相対湿度				
(19)			各居室の浮遊粉じん量				
(20)			各居室の一酸化炭素含有率				
(21)			各居室の二酸化炭素含有率				
(22)			各居室の気流				
2	換気設備を設けるべき調理室等						
(1)	自然換気設備及び機械換気設備		排気筒、排気フード及び煙突の材質				
(2)			排気筒、排気フード及び煙突の取付けの状況				
(3)			給気口、給気筒、排気口、排気筒、排気フード及び煙突の大きさ				
(4)			給気口、排気口及び排気フードの位置				
(5)			給気口、給気筒、排気口、排気筒、排気フード及び煙突の設置の状況				
(6)			排気筒及び煙突の断熱の状況				
(7)			排気筒及び煙突と可燃物、電線等との離隔距離				
(8)			煙突等への防火ダンパー、風道等の設置の状況				
(9)			各居室の給気口及び排気口における物品の放置の状況				
(10)	自然換気設備		煙突の先端の立ち上がりの状況（密閉型燃焼器具の煙突を除く。）	-	-	-	-
(11)	機械換気設備		煙突に連結した排気筒及び半密閉式瞬間湯沸器等の設置の状況				
(12)			換気扇による換気の状況				
(13)			給気機又は排気機の設置の状況				
(14)			機械換気設備の換気量				
3	法第28条第2項又は第3項に基づき換気設備が設けられた居室						
(1)	防火ダンパー等（外壁の開口部で延焼のおそれのある部分に設けるものを除く。）		防火ダンパーの設置の状況				
(2)			防火ダンパーの取付けの状況				
(3)			防火ダンパーの作動の状況				
(4)			防火ダンパーの劣化及び損傷の状況				
(5)			防火ダンパーの点検口の有無及び大きさ並びに検査口の有無				
(6)			防火ダンパーの温度ヒューズ				
(7)			壁及び床の防火区画貫通部の措置の状況				
(8)			連動型防火ダンパーの煙感知器、熱煙複合式感知器及び熱感知器の位置				
(9)			連動型防火ダンパーの煙感知器、熱煙複合式感知器及び熱感知器との連動の状況				
4	上記以外の検査項目等						

特記事項

番号	検査項目	指摘の具体的内容等	改善策の具体的内容等	改善（予定）

（注意）

① この書類は、建築物ごとに作成してください。

② 記入欄が不足する場合は、枠を拡大、行を追加して記入するか、別紙に必要な事項を記入して添えてください。

③ 「当該検査に関与した検査者」欄は、建築基準法施行規則別記第36の６様式第二面４欄に記入した検査者について記入し、「検査者番号」欄に検査者を特定できる番号、記号等を記入してください。当該建築設備の検査を行った検査者が１人の場合は、その他の検査者欄は記入不要です。

④ 検査対象建築物に換気設備がない場合は、この様式は記入不要です。

⑤ 該当しない検査項目等がある場合は、当該項目の「検査結果」欄及び「担当検査者番号」欄に「－」を記入してください。

⑥ 「検査結果」欄は、別表第一（ろ）欄に掲げる各検査事項ごとに記入してください。

⑦ 「検査結果」欄のうち「要是正」欄は、別表第一（ろ）欄に掲げる検査事項について同表（に）欄に掲げる判定基準に該当する場合に○印を記入してください。

⑧ 「検査結果」欄のうち「指摘なし」欄は、⑦に該当しない場合に○印を記入してください。

⑨ 「既存不適格」欄は、「要是正」欄に○印を記入した場合で、建築基準法第３条第２項の規定の適用を受けているものであることが確認されたときは、○印を記入してください。

⑩ 「担当検査者番号」欄は、「検査に関与した検査者」欄で記入した番号、記号等を記入してください。ただし、当該建築設備の検査を行った検査者が１人の場合は、記入不要です。

⑪ １(10)「各居室の換気量」については、法第28条第２項又は第３項に基づき換気設備が設けられた居室（換気設備を設けるべき調理室等を除く。）の換気状況評価表（別表１）を添付してください。

⑫ ２(14)「機械換気設備の換気量」については、換気設備を設けるべき調理室等の換気風量測定表（別表２）を添付してくださ

⑬ ４「上記以外の検査項目等」欄は、第２第２項の規定により特定行政庁が検査項目等を付加している場合に、当該検査項目等を追加し、⑥から⑩までに準じて検査結果等を記入してください。また、第２第３項に規定する認定検査項目等が定められている場合に、当該認定検査項目等を追加し、⑥から⑩までに準じて検査結果等を記入してください。

⑭ 「特記事項」は、検査の結果、要是正の指摘があった場合のほか、指摘がない場合にあっても特記すべき事項がある場合に、該当する検査項目等の番号、検査項目等を記入し、「指摘の具体的内容等」欄に指摘又は特記すべき事項の具体的内容を記入するとともに、改善済みの場合及び改善策が明らかになっている場合は「改善策の具体的内容等」欄にその内容を記入し、改善した場合は「改善（予定）年月」欄に当該年月を記入し、改善予定年月が明らかになっている場合は「改善（予定）年月」欄に当該年月を（　）書きで記入してください。

⑮ 要是正とされた検査項目（既存不適格の場合を除く。）については、要是正とされた部分を撮影した写真を別添の様式に従い添付してください。

別記第二号（Ａ４）

検査結果表

（排煙設備）

		氏名	検査者番号
当該検査に関与した検査者	代表となる検査者		
	その他の検査者		

番号	検査項目等			検査結果			担当検査者番号
				指摘なし	要是正	既存	
1	令第123条第3項第2号に規定する階段室又は付室、令第129条の13の3第13項に規定する昇降路又は乗降ロビー、令第126条の2第1項に規定する居室等						
(1)	排煙機	排煙機の外観	排煙機の設置の状況				
(2)			排煙風道との接続の状況				
(3)			煙排出口の設置の状況				
(4)			煙排出口の周囲の状況				
(5)			屋外に設置された煙排出口への雨水等の防止措置の状況				
(6)		排煙機の性能	排煙口の開放と連動起動の状況				
(7)			作動の状況				
(8)			電源を必要とする排煙機の予備電源による作動の状況				
(9)			排煙機の排煙風量				
(10)			中央管理室における制御及び作動状態の監視の状況				
(11)	排煙口	機械排煙設備の排煙口の外観	排煙口の位置				
(12)			排煙口の周囲の状況				
(13)			排煙口の取付けの状況				
(14)			手動開放装置の周囲の状況				
(15)			手動開放装置の操作方法の表示の状況				
(16)		機械排煙設備の排煙口の性能	手動開放装置による開放の状況				
(17)			排煙口の開放の状況				
(18)			排煙口の排煙風量				
(19)			中央管理室における制御及び作動状態の監視の状況				
(20)			煙感知器による作動の状況				
(21)	排煙風道	機械排煙設備の排煙風道（隠蔽部分及び埋設部分を除く。）	排煙風道の劣化及び損傷の状況				
(22)			排煙風道の取付けの状況				
(23)			排煙風道の材質				
(24)			防煙壁の貫通措置の状況				
(25)			排煙風道と可燃物、電線等との離隔距離及び断熱の状況				
(26)		防火ダンパー（外壁の開口部で延焼のおそれのある部分に設けるものを除く。）	防火ダンパーの取付けの状況				
(27)			防火ダンパーの作動の状況				
(28)			防火ダンパーの劣化及び損傷の状況				
(29)			防火ダンパーの点検口の有無及び大きさ並びに検査口の有無				
(30)			防火ダンパーの温度ヒューズ				
(31)			壁及び床の防火区画貫通部の措置の状況				
(32)	特殊な構造の排煙設備	特殊な構造の排煙設備の排煙口及び給気口の外観	排煙口及び給気口の大きさ及び位置				
(33)			排煙口及び給気口の周囲の状況				
(34)			排煙口及び給気口の取付けの状況				
(35)			手動開放装置の周囲の状況				
(36)			手動開放装置の操作方法の表示の状況				
(37)		特殊な構造の排煙設備の排煙口の性能	排煙口の排煙風量				
(38)			中央管理室における制御及び作動状態の監視の状況				
(39)			煙感知器による作動の状況				
(40)		特殊な構造の排煙設備の給気風道（隠蔽部分及び埋設部分を除く。）	給気風道の劣化及び損傷の状況				
(41)			給気風道の材質				
(42)			給気風道の取付けの状況				
(43)			防煙壁の貫通措置の状況				
(44)		特殊な構造の排煙設備の給気送風機	給気送風機の設置の状況				
(45)			給気風道との接続の状況				
(46)		特殊な構造の排煙設備の給気送風機の性能	排煙口の開放と連動起動の状況				
(47)			作動の状況				
(48)			電源を必要とする給気送風機の予備電源による作動の状況				
(49)			給気送風機の給気風量				
(50)			中央管理室における制御及び作動状態の監視の状況				
(51)		特殊な構造の排煙設備の給気送風機の吸込口	吸込口の設置位置				
(52)			吸込口の周囲の状況				
(53)			屋外に設置された吸込口への雨水等の防止措置の状況				
2	令第123条第3項第2号に規定する階段室又は付室、令第129条の13の３第13項に規定する昇降路又は乗降ロビー						
(1)	令第123条第3項第2号に規定する階段室又は付室、令第129条		排煙機、排煙口及び給気口の作動の状況				

(2)	の13の３第13項に規定する昇降路又は乗降ロビー		給気口の周囲の状況				
(3)	加圧防排煙設備	排煙風道（隠蔽部分及び埋設部分を除く。）	排煙風道の劣化及び損傷の状況				
(4)			排煙風道の取付けの状況				
(5)			排煙風道の材質				
(6)		給気口の外観	給気口の周囲の状況				
(7)			給気口の取付けの状況				
(8)			給気口の手動開放装置の周囲の状況				
(9)			給気口の手動開放装置の操作方法の表示の状況				
(10)		給気口の性能	給気口の手動開放装置による開放の状況				
(11)			給気口の開放の状況				
(12)		給気風道（隠蔽部分及び埋設部分を除く。）	給気風道の劣化及び損傷の状況				
(13)			給気風道の取付けの状況				
(14)			給気風道の材質				
(15)		給気送風機の外観	給気送風機の設置の状況				
(16)			給気風道との接続の状況				
(17)		給気送風機の性能	給気口の開放と連動起動の状況				
(18)			給気送風機の作動の状況				
(19)			電源を必要とする給気送風機の予備電源による作動の状況				
(20)			中央管理室における制御及び作動状態の監視の状況				
(21)		給気送風機の吸込口	吸込口の設置位置				
(22)			吸込口の周囲の状況				
(23)			屋外に設置された吸引口への雨水等の防止措置の状況				
(24)		遮煙開口部の性能	遮煙開口部の排出風速				
(25)		空気逃し口の外観	空気逃し口の大きさ及び位置				
(26)			空気逃し口の周囲の状況				
(27)			空気逃し口の取付けの状況				
(28)		空気逃し口の性能	空気逃し口の作動の状況				
(29)		圧力調整装置の外観	圧力調整装置の大きさ及び位置				
(30)			圧力調整装置の周囲の状況				
(31)			圧力調整装置の取付けの状況				
(32)		圧力調整装置の性	圧力調整装置の作動の状況				
3	令第126条の２第１項に規定する居室等						
(1)	可動防煙壁	手動降下装置の作動の状況					
(2)		手動降下装置による連動の状況					
(3)		煙感知器による連動の状況					
(4)		可動防煙壁の材質					
(5)		可動防煙壁の防煙区画					
(6)		中央管理室における制御及び作動状態の監視の状況					
4	予備電源						
(1)	自家用発電装置	自家用発電装置等の状況	自家用発電機室の防火区画等の貫通措置の状況				
(2)			発電機の発電容量				
(3)			発電機及び原動機の状況				
(4)			燃料油、潤滑油及び冷却水の状況				
(5)			始動用の空気槽の圧力				
(6)			セル始動用蓄電池及び電気ケーブルの接続の状況				
(7)			燃料及び冷却水の漏洩の状況				
(8)			計器類及びランプ類の指示及び点灯の状況				
(9)			自家用発電装置の取付けの状況				
(10)			自家用発電機室の給排気の状況（屋内に設置されている場合に限る				
(11)			接地線の接続の状況				
(12)			絶縁抵抗				
(13)		自家用発電装置の性能	電源の切替えの状況				
(14)			始動の状況				
(15)			運転の状況				
(16)			排気の状況				
(17)			コンプレッサー、燃料ポンプ、冷却水ポンプ等の補機類の作動の状				
(18)	直結エンジン	直結エンジンの外観	直結エンジンの設置の状況				
(19)			燃料油、潤滑油及び冷却水の状況				
(20)			セル始動用蓄電池及び電気ケーブルの接続の状況				
(21)			計器類及びランプ類の指示及び点灯の状況				
(22)			給気部及び排気管の取付けの状況				
(23)			Ｖベルト				
(24)			接地線の接続の状況				
(25)			絶縁抵抗				
(26)		直結エンジンの性	始動及び停止並びに運転の状況				
5	上記以外の検査項目等						

特記事項

番号	検査項目	指摘の具体的内容等	改善策の具体的内容等	改善（予定）

（注意）

① この書類は、建築物ごとに作成してください。

② 記入欄が不足する場合は、枠を拡大、行を追加して記入するか、別紙に必要な事項を記入して添えてください。

③ 「当該検査に関与した検査者」欄は、建築基準法施行規則別記第36の６様式第二面８欄に記入した検査者について記入し、「検査者番号」欄に検査者を特定できる番号、記号等を記入してください。当該建築設備の検査を行った検査者が１人の場合は、その他の検査者欄は記入不要です。

④ 検査対象建築物に排煙設備がない場合は、この様式は記入不要です。

⑤ 該当しない検査項目等がある場合は、当該項目の「検査結果」欄及び「担当検査者番号」欄に「－」を記入してください。

⑥ 「検査結果」欄は、別表第二（ろ）欄に掲げる各検査事項ごとに記入してください。

⑦ 「検査結果」欄のうち「要是正」欄は、別表第二（ろ）欄に掲げる検査事項について同表（に）欄に掲げる判定基準に該当する場合に○印を記入してください。

⑧ 「検査結果」欄のうち「指摘なし」欄は、⑦に該当しない場合に○印を記入してください。

⑨ 「既存不適格」欄は、「要是正」欄に○印を記入した場合で、建築基準法第３条第２項の規定の適用を受けているものであることが確認されたときは、○印を記入してください。

⑩ 「担当検査者番号」欄は、「検査に関与した検査者」欄で記入した番号、記号等を記入してください。ただし、当該建築設備の検査を行った検査者が１人の場合は、記入不要です。

⑪ １(9)「排煙機の排煙風量」及び１(18)「排煙口の排煙風量」については、排煙風量測定記録表（別表３）を添付してくださ

⑫ １(37)「排煙口の排煙風量」及び１(49)「給気送風機の給気風量」については、排煙風量測定記録表（別表３－２）を添付し

⑬ ２(24)「遮煙開口部の排出風速」については、排煙風量測定記録表（別表３－３）を添付してください。

⑭ ５「上記以外の検査項目等」欄は、第２第２項の規定により特定行政庁が検査項目等を付加している場合に、当該検査項目等を追加し、⑥から⑩までに準じて検査結果等を記入してください。また、第２第３項に規定する認定検査項目等が定められている場合に、当該認定検査項目等を追加し、⑥から⑩までに準じて検査結果等を記入してください。

⑮ 「特記事項」は、検査の結果、要是正の指摘があった場合のほか、指摘がない場合にあっても特記すべき事項がある場合に、該当する検査項目等の番号、検査項目等を記入し、「指摘の具体的内容等」欄に指摘又は特記すべき事項の具体的内容を記入するとともに、改善済みの場合及び改善策が明らかになっている場合は「改善策の具体的内容等」欄にその内容を記入し、改善した場合は「改善（予定）年月」欄に当該年月を記入し、改善予定年月が明らかになっている場合は「改善（予定）年月」欄に当該年月を（　）書きで記入してください。

⑯ 要是正とされた検査項目（既存不適格の場合を除く。）については、要是正とされた部分を撮影した写真を別添の様式に従い添付してください。

別記第三号（Ａ４）

検査結果表

（非常用の照明装置）

		氏名	検査者番号
当該検査に関与した検査者	代表となる検査者		
	その他の検査者		

番号	検査項目等			検査結果			担当検査者番号
				指摘なし	要是正	既存	
1	照明器具						
(1)	非常用の照明器具	使用電球、ランプ等					
(2)		照明器具の取付けの状況					
2	電池内蔵形の蓄電池、電源別置形の蓄電池及び自家用発電装置						
(1)	予備電源	予備電源への切替え及び器具の点灯の状況並びに予備電源の性能					
(2)	照度	照度の状況					
(3)		照明の妨げとなる物品の放置の状況					
(4)	分電盤	非常用電源分岐回路の表示の状況					
(5)	配線	配電管等の防火区画貫通措置の状況（隠蔽部分及び埋設部分を除く。）					
3	電源別置形の蓄電池及び自家用発電装置						
(1)	配線	照明器具の取付けの状況及び配線の接続の状況（隠蔽部分及び埋没部分を除く。）					
(2)		電気回路の接続の状況					
(3)		接続部（幹線分岐及びボックス内に限る。）の耐熱処理の状況					
(4)		予備電源から非常用の照明器具間の配線の耐熱処理の状況（隠蔽部分及び埋設部分を除く。）					
(5)	切替回路	常用の電源から蓄電池設備への切替えの状況					
(6)		蓄電池設備と自家用発電装置併用の場合の切替えの状況					
4	電池内蔵形の蓄電池						
(1)	配線及び充電ラン	充電ランプの点灯の状況					
(2)		誘導灯及び非常用照明兼用器具の専用回路の確保の状況					
5	電源別置形の蓄電池						
(1)	蓄電池	蓄電池等の状況	蓄電池室の防火区画等の貫通措置の状況				
(2)			蓄電池室の換気の状況				
(3)			蓄電池の設置の状況				
(4)		蓄電池の性能	電圧				
(5)			電解液比重				
(6)			電解液の温度				
(7)		充電器	充電器室の防火区画等の貫通措置の状況				
(8)			キュービクルの取付けの状況				
6	自家用発電装置						
(1)	自家用発電装置	自家用発電装置等の状況	自家用発電機室の防火区画等の貫通措置の状況				
(2)			発電機の発電容量				
(3)			発電機及び原動機の状況				
(4)			燃料油、潤滑油及び冷却水の状況				
(5)			始動用の空気槽の圧力				
(6)			セル始動用蓄電池及び電気ケーブルの接続の状況				
(7)			燃料及び冷却水の漏洩の状況				
(8)			計器類及びランプ類の指示及び点灯の状況				
(9)			自家用発電装置の取付けの状況				
(10)			自家用発電機室の給排気の状況（屋内に設置されている場合に限る				
(11)			接地線の接続の状況				
(12)			絶縁抵抗				
(13)		自家用発電装置の性能	電源の切替えの状況				
(14)			始動の状況				
(15)			運転の状況				
(16)			排気の状況				
(17)			コンプレッサー、燃料ポンプ、冷却水ポンプ等の補機類の作動の状況				
7	上記以外の検査項目等						

特記事項

番号	検査項目	指摘の具体的内容等	改善策の具体的内容等	改善（予

（注意）

① この書類は、建築物ごとに作成してください。

② 記入欄が不足する場合は、枠を拡大、行を追加して記入するか、別紙に必要な事項を記入して添えてください。

③ 「当該検査に関与した検査者」欄は、建築基準法施行規則別記第36の6様式第二面12欄に記入した検査者について記入し、「検査者番号」欄に検査者を特定できる番号、記号等を記入してください。当該建築設備の検査を行った検査者が１人の場合は、その他の検査者欄は記入不要です。

④ 検査対象建築物に非常用の照明装置がない場合は、この様式は記入不要です。

⑤ 該当しない検査項目等がある場合は、当該項目の「検査結果」欄及び「担当検査者番号」欄に「－」を記入してください。

⑥ 「検査結果」欄は、別表第三（ろ）欄に掲げる各検査事項ごとに記入してください。

⑦ 「検査結果」欄のうち「要是正」欄は、別表第三（ろ）欄に掲げる検査事項について同表（に）欄に掲げる判定基準に該当する場合に○印を記入してください。

⑧ 「検査結果」欄のうち「指摘なし」欄は、 ⑦に該当しない場合に○印を記入してください。

⑨ 「既存不適格」欄は、「要是正」欄に○印を記入した場合で、建築基準法第３条第２項の規定の適用を受けているものであることが確認されたときは、○印を記入してください。

⑩ 「担当検査者番号」欄は、「検査に関与した検査者」欄で記入した番号、記号等を記入してください。ただし、当該建築設備の検査を行った検査者が１人の場合は記入不要です。

⑪ ２(２)「照度」については、非常用の照明装置の照度測定表（別表４）を添付してください。

⑫ ７「上記以外の検査項目等」欄は、第２第２項の規定により特定行政庁が検査項目等を付加している場合に、当該検査項目等を追加し、⑥から⑩までに準じて検査結果等を記入してください。また、第２第３項に規定する認定検査項目等が定められている場合に、当該認定検査項目等を追加し、⑥から⑩までに準じて検査結果等を記入してください。

⑬ 「特記事項」は、検査の結果、要是正の指摘があった場合のほか、指摘がない場合にあっても特記すべき事項がある場合に、該当する検査項目等の番号、検査項目等を記入し、「指摘の具体的内容等」欄に指摘又は特記すべき事項の具体的内容を記入するとともに、改善済みの場合及び改善策が明らかになっている場合は「改善策の具体的内容等」欄にその内容を記入し、改善した場合は「改善（予定）年月」欄に当該年月を記入し、改善予定年月が明らかになっている場合は「改善（予定）年月」欄に当該年月を（　）書きで記入してください。

⑭ 要是正とされた検査項目（既存不適格の場合を除く。）については、要是正とされた部分を撮影した写真を別添の様式に従い添付してください。

別記第四号（Ａ４）　　様式2-5

検査結果表

（給水設備及び排水設備）

当該検査に関与した検査者		氏　名	検査者番号
	代表となる検査者		
	その他の検査者		

番号	検査項目等		検査結果			担当検査者番号
			指摘なし	要是正	既存不適格	
1	**飲料用の配管設備、排水設備**					
(1)	飲料用配管、排水配管（隠蔽部分及び埋設部分を除く。）	配管の取付けの状況				
(2)		配管の腐食及び漏水の状況				
(3)		配管が貫通する箇所の損傷防止措置の状況				
(4)		継手類の取付けの状況				
(5)		保温措置の状況				
(6)		防火区画等の貫通措置の状況				
(7)		配管の支持金物				
(8)		飲料水系統配管の汚染防止措置の状況				
(9)		止水弁の設置の状況				
(10)		ウォーターハンマーの防止措置の状況				
(11)		給湯管及び膨張管の設置の状況				
2	**飲料水の配管設備**					
(1)	給水タンク等、給水ポンプ	給水タンク等の設置の状況				
(2)		給水タンク等の通気管、水抜き管、オーバーフロー管等の設置の状況				
(3)		給水タンク等の腐食及び漏水の状況				
(4)		給水用圧力タンクの安全装置の状況				
(5)		給水ポンプの運転の状況				
(6)		給水タンク及びポンプ等の取付けの状況				
(7)		給水タンク等の内部の状況				
(8)	給湯設備（循環ポンプを含む」。）	給湯設備（ガス湯沸器を除く。）の取付けの状況				
(9)		ガス湯沸器の取付けの状況				
(10)		給湯設備の腐食及び漏水の状況				
(11)		ガス湯沸器の煙突及び給排気部の構造				
(12)		電気給湯器の取付けの状況				
3	**排水設備**					
(1)	排水槽	排水槽のマンホールの大きさ				
(2)		排水槽の通気の状況				
(3)		排水漏れの状況				
(4)		排水ポンプの設置の状況				
(5)		排水ポンプの運転の状況				
(6)		地下街の非常用の排水設備の処理能力及び予備電源の状況				
(7)	排水再利用配管設備（中水道を含む。）	雑用水の用途				
(8)		雑用水給水栓の表示の状況				
(9)		配管の標識等				
(10)		雑用水タンク、ポンプ等の設置の状況				
(11)		消毒装置				
(12)	その他 衛生器具	衛生器具の取付けの状況				
(13)	排水トラップ	排水トラップの取付けの状況				
(14)	阻集器	阻集器の構造、機能及び設置の状況				
(15)	排水管	公共下水道等への接続の状況				
(16)		雨水排水立て管の接続の状況				
(17)		排水の状況				
(18)		掃除口の取付けの状況				
(19)		雨水系統との接続の状況				
(20)		通気管の状況				
(21)		通気開口部の状況				
(22)		間接排水の状況				
4	**上記以外の検査項目等**					

特記事項

番号	検査項目等	指摘の具体的内容等	改善策の具体的内容等	改善（予定）年月

（注意）

① この書類は、建築物ごとに作成してください。

② 記入欄が不足する場合は、枠を拡大、行を追加して記入するか、別紙に必要な事項を記入して添えてください。

③ 「当該検査に関与した検査者」欄は、建築基準法施行規則別記第36の４様式第二面４欄に記入した検査者について記入し、「検査者番号」欄に検査者を特定できる番号、記号等を記入してください。当該建築設備の検査を行った検査者が１人の場合は、その他の検査者欄は削除して構いません。

④ 該当しない検査項目等がある場合は、当該項目の「番号」欄から「担当検査者番号」欄までを取消線で抹消してください。

⑤ 「検査結果」欄は、別表第一（ろ）欄に掲げる各検査事項ごとに記入してください。

⑥ 「検査結果」欄のうち「要是正」欄は、別表第一（ろ）欄に掲げる検査事項について同表（に）欄に掲げる判定基準に該当する場合に○印を記入してください。

⑦ 「検査結果」欄のうち「指摘なし」欄は、⑤に該当しない場合に○印を記入してください。

⑧ 「既存不適格」欄は、「要是正」欄に○印を記入した場合で、建築基準法第３条第２項の規定の適用を受けているものであることが確認されたときは、○印を記入してください。

⑨ 「担当検査者番号」欄は、「検査に関与した検査者」欄で記入した番号、記号等を記入してください。ただし、当該建築設備の検査を行った検査者が１人の場合は、記入しなくても構いません。

⑩ ４「上記以外の調査項目等」は、第２ただし書の規定により特定行政庁が検査項目等を追加したとき又は第２第２項の規定により検査の方法を記載した図書があるときに、特定行政庁が追加した検査項目等又は第２第２項に規定する図書に記載されている検査項目等を追加し、⑤から⑧に準じて検査結果等を記入してください。なお、これらの項目等がない場合は、４は削除して構いません。

⑪ 「特記事項」は、検査の結果、要是正の指摘があった場合のほか、指摘がない場合にあっても特記すべき事項がある場合に、該当する検査項目等の番号、検査項目等を記入し、「指摘の具体的内容等」欄に指摘又は特記すべき事項の具体的内容を記入するとともに、改善済みの場合及び改善策が明らかになっている場合は「改善策の具体的内容等」欄にその内容を記入し、改善した場合は「改善（予定）年月」欄に当該年月を記入し、改善予定年月が明らかになっている場合は「改善（予定）年月」欄に当該年月を（　）書きで記入してください。

⑫ 要是正とされた検査項目等（既存不適格の場合を除く。）については、要是正とされた部分を撮影した写真を別添の様式に従い添付してください。

別表１　法第28条第２項又は第３項に基づき換気設備が設けられた居室（換気設備を設けるべき調理室等を除く。）の換気状況評価ま　　**様式2-6**

測定年月日		測定機器　メーカー名			型式番号等	
階	室名	必要換気量（m3/h）	換　気　方　式	換気設備機種名*注1	換気状況の評価*注2	判　定
			一種・二種・三種			指摘なし・要是正
			一種・二種・三種			指摘なし・要是正
			一種・二種・三種			指摘なし・要是正
			一種・二種・三種			指摘なし・要是正
			一種・二種・三種			指摘なし・要是正
			一種・二種・三種			指摘なし・要是正
			一種・二種・三種			指摘なし・要是正
			一種・二種・三種			指摘なし・要是正
			一種・二種・三種			指摘なし・要是正
			一種・二種・三種			指摘なし・要是正
			一種・二種・三種			指摘なし・要是正
			一種・二種・三種			指摘なし・要是正
			一種・二種・三種			指摘なし・要是正
			一種・二種・三種			指摘なし・要是正
			一種・二種・三種			指摘なし・要是正
			一種・二種・三種			指摘なし・要是正
			一種・二種・三種			指摘なし・要是正
			一種・二種・三種			指摘なし・要是正
			一種・二種・三種			指摘なし・要是正
			一種・二種・三種			指摘なし・要是正
			一種・二種・三種			指摘なし・要是正
			一種・二種・三種			指摘なし・要是正
			一種・二種・三種			指摘なし・要是正
			一種・二種・三種			指摘なし・要是正
			一種・二種・三種			指摘なし・要是正
			一種・二種・三種			指摘なし・要是正
			一種・二種・三種			指摘なし・要是正
			一種・二種・三種			指摘なし・要是正
			一種・二種・三種			指摘なし・要是正
			一種・二種・三種			指摘なし・要是正
			一種・二種・三種			指摘なし・要是正
			一種・二種・三種			指摘なし・要是正

注1）室ごとに単独の換気扇がある場合など、換気設備が特定されている場合は、その名称を記入する。

注2）「換気状況の評価」欄には、外気取り入れ口における風量測定を行うことが最も確実であり、換気量測定を行った場合は、その測定結果を記入する。
これに代わる方法として、各室の二酸化炭素濃度の測定を行い、居住者数と測定値に矛盾がないか確認する等を行った場合には、その結果を記入する。

別表２　換気設備を設けるべき調理室等の換気風量測定表（Ａ４）　　様式2-7

測定年月日			測定機器　メーカー名			型式番号等		
室番（場所）	使用器具	発熱量(kW)	換気型式(n)	必要換気量（㎥/h）	開口面積（㎡）	測定風速*注（m/s）	測定風量（㎥/ｈ）	判　　定
			40・30・20・2					指摘なし・要是正
			40・30・20・2					指摘なし・要是正
			40・30・20・2					指摘なし・要是正
			40・30・20・2					指摘なし・要是正
			40・30・20・2					指摘なし・要是正
			40・30・20・2					指摘なし・要是正
			40・30・20・2					指摘なし・要是正
			40・30・20・2					指摘なし・要是正
			40・30・20・2					指摘なし・要是正
			40・30・20・2					指摘なし・要是正
			40・30・20・2					指摘なし・要是正
			40・30・20・2					指摘なし・要是正
			40・30・20・2					指摘なし・要是正
			40・30・20・2					指摘なし・要是正
			40・30・20・2					指摘なし・要是正
			40・30・20・2					指摘なし・要是正
			40・30・20・2					指摘なし・要是正
			40・30・20・2					指摘なし・要是正
			40・30・20・2					指摘なし・要是正
			40・30・20・2					指摘なし・要是正
			40・30・20・2					指摘なし・要是正
			40・30・20・2					指摘なし・要是正
			40・30・20・2					指摘なし・要是正
			40・30・20・2					指摘なし・要是正
			40・30・20・2					指摘なし・要是正
			40・30・20・2					指摘なし・要是正
			40・30・20・2					指摘なし・要是正
			40・30・20・2					指摘なし・要是正
			40・30・20・2					指摘なし・要是正
			40・30・20・2					指摘なし・要是正
			40・30・20・2					指摘なし・要是正
			40・30・20・2					指摘なし・要是正
			40・30・20・2					指摘なし・要是正
			40・30・20・2					指摘なし・要是正
			40・30・20・2					指摘なし・要是正
			40・30・20・2					指摘なし・要是正
			40・30・20・2					指摘なし・要是正

注）「測定風速」欄には、原則として測定した箇所の平均風速を記入する。

別表３　排煙風量測定記録表（Ａ４）*注1）　　様式2-8

測定年月日		測定機器　メーカー名		型式番号等	
1	排煙機系統(機器番号等)		排煙機銘板表示	排煙機の規定風量	
				最大防煙区画面積　　㎡×１ or ２=　　㎥/min	

2	排煙口						判定
	階	室名	排煙口面積（㎡）	測定風速（m/s）*注2）	測定風量（㎥/min）	規定風量（㎥/min）	
							指摘なし・要是正
							指摘なし・要是正
							指摘なし・要是正
							指摘なし・要是正
							指摘なし・要是正
							指摘なし・要是正
							指摘なし・要是正
							指摘なし・要是正
							指摘なし・要是正
							指摘なし・要是正
							指摘なし・要是正

3	排煙機					判定
	排煙機（番号等）	煙排出口面積（㎡）	測定風速（m/s）*注2）	測定風量（㎥/min）	規定風量（㎥/min）	
						指摘なし・要是正

4	直結エンジン（内燃エンジン）の有無	予備電源又は直結エンジン切り替え
	有　・　無	指摘なし・要是正

5	排煙系統図（排煙機と排煙口の対応関係がわかる図を記入すること）

注1）本記録表は、排煙機系統ごとに記入する。

注2）「測定風速」欄には、原則として測定した箇所の平均風速を記入する。

注3）自主点検等による排煙風量測定記録がある場合は、実施時期、測定方法、
測定値等が適正であるか否かを判定すること。

別表３－２排煙風量測定記録表（Ａ４）給気式（特殊な構造の排煙設備）　　**様式2-8**

測定年月日		測定機器　メーカー名		型式番号等	
1	給気送風機系統(機器番号等)		給気送風機銘板表示	給気送風機の性能（風量）	
				m3/min	

2	排煙口						判定
	階	室　　名	排煙口面積　(㎡)	測定風速　(m/s)＊注1)	測定風量　(㎥/min)	規定風量　(㎥/min)	
							指摘なし・要是正
							指摘なし・要是正

3	給　気　送　風　機				判定
	吸込口面積（㎡）	測定風速　(m/s)	測定風量　(㎥/min)	規定風量　(㎥/min)	
					指摘なし・要是正

4	直結エンジン（内燃エンジン）の有無	予備電源又は直結エンジン切り替え
	有　・　無	指摘なし・要是正

5	排煙系統図（給気送風機と排煙口の対応関係がわかる図を記入すること）

注1)「測定風速」欄には、原則として測定した箇所の平均風速を記入する。
注2) 自主点検等による排煙風量測定記録がある場合は、実施時期、測定方法、
　　測定値等が適正であるか否かを判定すること。

別表３－３　排煙風量測定記録表（Ａ４）加圧式（加圧防排煙設備）　　様式2-8

測定年月日		測定機器　メーカー名		型式番号等	
1	給気送風機系統(機器番号等)		給気送風機銘板表示	給気送風機の性能（風量）	
					m^3/min

2	遮煙開口部・空気逃し口							判定
	階	室名	空気逃し口の方式*注1)	測定排出風速*注2)(m/s)	規定排出風速*注3)(m/s)	算定式*注3)	遮煙開口部の高さ（m）	
			1．自然方式 □ 2．機械方式 □ 3．併用方式 □					指摘なし・要是正
			1．自然方式 □ 2．機械方式 □ 3．併用方式 □					指摘なし・要是正
			1．自然方式 □ 2．機械方式 □ 3．併用方式 □					指摘なし・要是正
			1．自然方式 □ 2．機械方式 □ 3．併用方式 □					指摘なし・要是正

3	直結エンジン（内燃エンジン）の有無	予備電源又は直結エンジン切り替え
	有　・　無	指摘なし・要是正

4	排煙系統図　（給気送風機と空気逃し口の対応関係がわかる図を記入すること）

注1）「空気逃し口の方式」欄には、該当するチェックボックスに「レ」マークを入れる。
注2）「測定排出風速」欄には、原則として測定した箇所の平均風速を記入する。
注3）隣接室を区画する当該区画の仕様及び隣接室の仕様に応じて、規定排出風速Ｖの算定式を以下の①から③のいずれかを選択し、「算定式」欄に記入する。また、当該算定式により排出風速を算出し、「規定排出風速」欄に記入する。この場合において、Ｖは排出風速、Ｈは遮煙開口部の高さを表す。
①Ｖ＝２．７$\sqrt{H}$　②Ｖ＝３．３$\sqrt{H}$　③Ｖ＝３．８$\sqrt{H}$
注4）自主点検等による風速測定記録がある場合は、実施時期、測定方法、測定値等が適正であるか否かを判定すること。

別表４　非常用の照明装置の照度測定表（Ａ４）　　**様式2-9**

測定年月日	令和　　年　　月　　日	測定機器　メーカー名		型式番号等	
光源の種類	最低照度の測定場所		最低照度（lx）		判定
	階	部屋・廊下等			
白熱灯					指摘なし・要是正
蛍光灯					指摘なし・要是正
ンプ（自動検査機能					指摘なし・要是正
ンプ（自動検査機能					指摘なし・要是正
の他（					指摘なし・要是正

（別紙）

階別	測定場所	測定位置＊注１）	光源の種類＊注2）	照度（lx）＊注3）	判定
					指摘なし・要是正
					指摘なし・要是正
					指摘なし・要是正
					指摘なし・要是正
					指摘なし・要是正
					指摘なし・要是正
					指摘なし・要是正
					指摘なし・要是正
					指摘なし・要是正
					指摘なし・要是正
					指摘なし・要是正
					指摘なし・要是正
					指摘なし・要是正

注 1）「測定位置」欄には、「出入口付近」、「右壁中央付近」のように明記する。
注 2）「光源の種類」欄には、白熱灯、蛍光灯、LEDランプ （自動検査機能なし）、LEDランプ（自動検査機能あり）、その他の別及び電池内蔵のものにあっては、（内）と付す。
注 3）「照度」欄には、自動検査機能を有していない場合は、照度の値（ｌｘ）を記入し、自動検査機能を有するものにあっては、「-」を記入する。